

2025年度 医療安全管理者養成研修 プログラム ～ e-ラーニング+オンライン演習～

講義：本紙赤枠表示内の指定時間を超える視聴、テストは選択式：80%以上の得点、記述式：提出 が修了条件です。
 e-ラーニングシステムの目次画面で、該当項目名の右側に受講済みマークがついたらチェックを入れましょう！
 <講義を視聴してから受講済みマークが表示されるまで、数分かかります>

受講済

| テーマ・内容 | 講義時間 (分) | 講師（敬称略） | 受講済チェック欄 | | |
|--|-------------|--|----------|--------------|--------------|
| | | | 講義 | テスト (選択式) | テスト (記述式) |
| 【e-ラーニング】 | | | | | |
| | | 冒頭挨拶：小泉 俊三（一般社団法人 医療安全全国共同行動 議長） | | | |
| 1 医療安全の基本的考え方と今後の展望 | 94 | 長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副病院長/患者安全推進部 教授） | | | |
| 2 日本における医療安全施策の動向 | 62 | 栗原 健（厚生労働省 医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室 医療安全対策専門官/医系技官） | | | |
| 3 医療安全管理者としての役割と心構えと組織マネジメント | 72 | 杉山 良子（一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会（RoomT2）代表/看護師） | | | |
| 4 医療業務の組織的な標準化と改善 | 90 | 棟近 雅彦（早稲田大学 教授） | | | |
| 5 医療安全とヒューマンファクターズ～ヒューマンエラーの防止活動～ | 58 | 小松原 明哲（早稲田大学 理工学術院 教授） | | | |
| 6 事故発生のメカニズムと事例分析 | 231 | 河野 龍太郎（自治医科大学 名誉教授、株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長/博士（心理学）） | | | |
| 7 医療安全に関するデータの収集と活かし方 | 61 | 松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長/教授） | | | |
| 8 医療安全教育の企画と方法 | 126 | 杉山 良子（一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会（RoomT2）代表/看護師） | | テストおよび課題 | |
| 9 医薬品の安全管理 | | | | | |
| 9-a 医薬品安全管理責任者の位置づけと業務 | 13 | 堀 雄史（浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長/薬剤師） | | | |
| 9-b 有事の対応/平時の活動/薬剤関連の患者誤認 | 92 | 梅村 朋（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 病院講師/薬剤師） | | | |
| 9-c タスク・シフティングにおける薬剤業務 | 13 | 堀 雄史（浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長/薬剤師） | | | |
| 10 医療機器の安全管理 ～生命維持管理装置を中心に～ | 97 | 青木 郁香（公益社団法人 日本臨床工学技士会 専務理事） | | | |
| 11 臨床現場におけるエラーや事故とその対応 | | | | | |
| 11-a 診断エラー | 33 | 高橋 英夫（東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 歯学系専攻 全人的医療開発学講座 生体集中管理学 特任教授） | | | |
| 11-b 臨床検査部門のエラーと対策 | 33 | 根本 誠一（株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 TQM統括室 安全管理センタ） | | | |
| 11-c 放射線部門でのリスク | 28 | 阿部 真治（名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 診療放射線技師長） | | | |
| 11-d 経鼻栄養チューブの安全な挿入と管理 | 37 | 須田 喜代美（一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院 医療の質管理部 医療安全管理室 課長） | | | |
| 11-e 転倒・転落 | 70 | 黒川 美知代（武蔵野赤十字病院 看護師長） | | | |
| 11-f 連携・コミュニケーションエラー/検査結果の情報伝達についてのエラー | 39 | 原田 賢治（国立大学法人 東京農工大学 保健管理センター 教授） | | テストおよび課題 | |
| 11-g 臨床現場のインシデントの防止に向けて | 43 | 黒川 美知代（武蔵野赤十字病院 看護師長） | | | |
| 12 患者・家族とのパートナーシップによる医療安全 | | | | | |
| 12-a 患者参加の意義・方法/患者・家族とのコミュニケーションのポイント | 63 | 山内 桂子（東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室 特別講師） | | | |
| 12-b 患者・家族の視点/患者サポート体制の整備と医療対話推進者との連携 | 47 | 豊田 郁子（患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋 理事長） | | | |
| 13 地域における医療安全 | | | | | |
| 13-a 地域連携の意義・方法/地域連携の実践 | 38 | 菅野 隆彦（JA長野厚生連 下伊那厚生病院 内科 部長/医療安全管理室 室長 南信州医療安全ネットワーク 代表） | | | |
| 13-b 在宅での医療事故/介護施設での医療事故/地域での医療安全体制の構築 | 71 | 佐々木 淳（医療法人社団 悠翔会 理事長/診療部長） | | | |
| 13-c 訪問看護にまつわる医療事故/地域連携による事故防止 | 41 | 高砂 裕子（一般社団法人 南区医師会訪問看護ステーション 管理者、一般社団法人 全国訪問看護事業協会 副会長） | | | |
| 14 医療安全における法的問題と重大インシデントへの対応 | | | | | |
| 14-a 医師法・保健師助産師看護師法/医療と裁判/患者の権利 | 95 | 長谷部 圭司（蒼法律事務所、社会医療法人蒼生会 蒼生病院 医師/弁護士） | | | |
| 14-b 重大インシデント発生時の対応/患者・家族への対応/職員への精神的支援 | 93 | 松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長/教授） | | | |
| 15 医療事故調査制度 | 81 | 長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 副病院長/患者安全推進部 教授） | | | |
| 16 医療事故情報収集等事業について | 62 | 坂口 美佐（公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部） | | | |
| 17 患者安全とガバナンス | 58 | 上田 裕一（独立行政法人 奈良県立病院機構 理事長） | | | |
| 18 安全文化の醸成 | | | | | |
| 18-a 安全文化の醸成に向けたチーム・コミュニケーション | 81 | 種田 憲一郎（国立保健医療科学院 上席主任研究官） | | | |
| 18-b 安全文化の醸成に向けて | 65 | 鮎澤 純子（九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授） | | | |
| 【オンライン演習】 | | | | | |
| 1 [6. 事故発生のメカニズムと事例分析] の演習 | 240 | 河野 龍太郎（自治医科大学 名誉教授、株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長/博士（心理学）） | | 演習 | |
| 2 [8. 医療安全教育の企画と方法] の演習 [11-f. 連携・コミュニケーションエラー] の演習 | 240 | 杉山 良子（一般社団法人 医療安全全国共同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会（RoomT2）代表/看護師） 原田 賢治（国立大学法人 東京農工大学 保健管理センター 教授） | | 演習 | |
| 総時間数 | 2567 | e-ラーニング34時間47分+オンライン演習8時間 = 研修時間合計42時間47分 （テスト時間は含まず） | | | |

※ 教材内の講師情報は収録時のものです

主催：一般社団法人 医療安全全国共同行動